

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network

Now

2022 No.559

7/1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第84回 公益社団法人 日本診療放射線技師会 定時総会 開催される (Web併催)

定款第15条の規定により、第84回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が2022年6月11日(土)午後1時から本会会議室で、Web会議システムを併用して開催されました。

総会は、富田副会長の開会宣言に続き、上田会長より開会のあいさつ、令和3(2021)年度物故者への黙とうが執り行われました。その後の表彰式で、功労表彰4人、地域学術奨励賞10人が表彰されました。続いて門田総会運営委員長より代議員決選票提出数の報告があり、代議員210人のうち180人による参加をもって、定款第18条に基づき本総会の成立が報告されました。議長選出については立候補者2人について報告があり、愛知県診療放射線技師会の水口仁氏、和歌山県放射線技師会の川合久之氏が承認されました。議長あいさつの後、総会職員10人の選出および承認、開票方法などの報告が行われました。

報告事項については、上田会長より令和3(2021)年度事業報告、江端財務担当理事より令和3(2021)年度決算報告が行われました。監査報告は、大光監査法人より令和3(2021)年度独立監査法人の報告の後、新開監事より令和3(2021)年度監査報告が行われました。

その後、議案に入り、1~5号議案が審議されました。第1号議案：令和4(2022)年度事業計画(案)について、上田会長より令和4(2022)年度事業計画案および、令和4年度のスローガンとして「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう」が提案され、賛成多数で承認されました。第2号議案：令和4(2022)年度予算(案)について、江端財務担当理事より説明され、賛成多数で承認されました。第3号議案：中澤靖夫前会長の名誉会員について、上田会長より説明され、賛成多数で承認されました。第4号議案：令和4(2022)・5(2023)年度役員選任について、議長より代議員の表決数が発表され、候補者全員が過半数以上の承認を得て、新役員として選任されました。第5号議案：会長候補者・副会長候補者の選出について、定款第27条第2項の説明が議長からあり、否決多数で理事会で選定することとなりました。



連絡事項として、第38回日本診療放射線技師学術大会(2022年9月16日(金)から18日(日)まで：神戸コンベンションセンター)について兵庫県放射線技師会の半部副会長より案内されました。

その後、第2回理事会をWeb併用で開催し、総会選出理事の互選により、会長に上田克彦氏、副会長に江藤芳浩氏、富田博信氏、児玉直樹氏、業務執行理事に麻生智彦氏が選定されました。

休憩時間を挟み総会が再開され、第2回理事会で選定された代表理事(会長)・業務執行理事(副会長3人および業務執行理事1人)の発表の後、会長、副会長、業務執行理事のあいさつが行われました。児玉副会長の閉会あいさつにより、滞りなく、終始和やかな雰囲気でご本総会は終了しました。なお、議事・評決数の詳細は、本会誌8月号をご参照ください。(文責：富田博信)

日本診療放射線技師会の facebook ページへ
「いいね！」をお願いします！

https://www.facebook.com/jart.or.jp/?ref=pages_you_manage



日本診療放射線技師会 2022年度・2023年度 新執行部

会長



上田 克彦
山口県

副会長



江藤 芳浩
大分県



富田 博信
埼玉県



児玉 直樹
新潟県

監事(外部監事)



梅本 啓
神奈川県

監事



小川 利政
大阪府



小川 清
埼玉県

理事(外部理事)



豊田 長康
三重県



杉浦麻由美
東京都



鈴木 毅厚
三重県



理事 (地域理事)



富田 伸生
北海道 (北海道地域)



新里 昌一
福島県 (東北地域)



後閑 隆之
群馬県 (北関東地域)



大内 幸敏
神奈川県 (南関東地域)



界外 忠之
三重県 (中日本地域)



後藤 吉弘
兵庫県 (近畿地域)



木口 雅夫
広島県 (中四国地域)



西小野昭人
熊本県 (九州地域)

理事 (全国理事)



中村 泰彦
福岡県



大野 肇
北海道



佐藤 晴美
山形県



菊地 克彦
東京都



麻生 智彦
東京都



江端 清和
福井県



高橋 俊行
神奈川県



川守田 龍
大阪府

事務局長



園田 優
千葉県



中村登紀子
静岡県



上島 隆

就任のごあいさつ



会長

上田 克彦

2期目を迎え、伝統ある本会会長としての責任を一層強く感じています。

1期目の2年間は「対話と協調」を掲げ、関係する団体や省庁と情報共有を行い、本会事業へのご協力の要請と共同事業を実現しました。2021年6月には本会と日本医学放射線学会、日本放射線科専門医会・医会、日本放射線技術学会と「放射線診療4団体連絡協議会」を設立し、その活動の一環として、2023年4月には第31回日本医学会総会において、放射線診療について国民への情報発信ブースを設けることに

なりました。

2期目は「発信と実行」を掲げて運営していきたいと思えます。本会事業は多岐にわたるため、会員の皆さまが全体像を把握することは容易ではありませんが、本会事業を会員だけでなく非会員にもご理解いただくことが組織率向上に必要だと考えています。このため本年度は本会ホームページのリニューアルを行います。またSNSによる情報発信については、世界放射線技師会 (ISRRT) も情報発信しているFacebookをすでに始めており、今後も若い方のニーズに合ったサイトでの活動を検討していきます。

告示研修開催におきましては、都道府県（診療）放射線技師会の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。本年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着くことを期待し、申し込みいただいている皆さまが受講できるように進めたいと存じます。



副会長

江藤 芳浩

会員各位におかれましては、平素より本会事業にお力添えを頂き感謝を申し上げます。このたびの第84回定時総会におきまして理事に選任いただき、総会後の2022年度第2回理事会におきまして、副会長の大任を拝命致しました。上田会長はじめ役員各位のお力添えを頂きながら、本会発展のため使

命感を持って職務にまい進致す所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻^{べんたつ}のほど、よろしくお願い申し上げます。

本会は、告示研修やラダーによる新生涯教育システムの運用、さらに国や地区技師会、他団体との協働事業をはじめ、各種事業活動とそれに伴う会務が多岐にわたりますが、事業の確実な実行と、分かりやすい技師会のための情報発信に取り組んでまいります。

本会事業を円滑に進めていくためには、特に全国地区技師会との連携、相互協力体制の充実が必要でございます。今後とも本会への変わらぬご支援を賜りますよう、何とぞお願い申し上げます。



副会長

富田 博信

今期で2期目の副会長を拝命致しました。2020年より新執行体制になり、事務所移転担当副会長としてコロナ禍での事務所の在り方について再検討し、賃借床面積の縮小を提案することで、本会事務所固定費用削減を原資とした会費の値下げにつなげました。また本会誌Web配信の試験運用を開始しています。そして足掛け5年にわたり本会英文誌のPMCへの申請の準備を進めてまいりましたが、直近、採択

レギュレーションに変更が生じたため、2022年春に申請を予定していた時期を見直し、必要事項を盛り込んだ投稿規程の改定などを行い、できるだけ早期の申請を目指します。また2021年5月に発足したJART-JSRT協力体制推進特別委員会において、日本放射線技術学会とのさらなる協力推進体制の検討を定期的に行い、前向きな議論を進めてまいりたいと思えます。そして2024年秋のJSRTとの合同学術大会開催に向けた準備を加速してまいります。今期も関連他団体との連携強化に努め、会員目線に立った事業を展開し、JARTの発展に寄与したいと考えております。

職能団体としての組織率向上は必須と考えており、会員増加を何としても実現すべく、入会促進委員会担当副会長として、新たな施策を検討・推進してまいりたいと思えます。今期も皆さまのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。



副会長
児玉 直樹

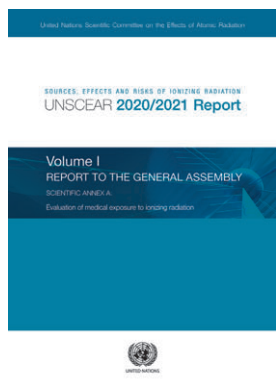
会員の皆さま方におかれましては、平素より本会事業にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。特に、昨年度より開始致しました令和3年厚生労働省告示第273号研修(告示研修)には、すでに2万2千人を超える診療放射線技師の方に申し込みを頂いております。改めて感謝申し上げます。

さて、昨年10月より改正された診療放射線技師法に伴い、

告示研修がスタートしましたが、本年度から本格的に実技研修を都道府県(診療)放射線技師会のご協力により開始しております。新たな業務を行うに当たっては告示研修を受講する必要がありますので、多くの方々に受講いただき、社会に対して責任を持つ職種であることを主張していきたいと考えています。また業務拡大を含め医療を取り巻く環境は急速かつ劇的に変化していますので、時代認識を磨き、迅速に対応していく能力が必要となります。現状に満足し、そこにとどまろうとしても社会は待ってくれませんし、他職種から置いていかれることとなります。特に若い世代の診療放射線技師には、主体性を持ち、柔軟な発想と行動力で社会に挑戦していくことを望みます。

今後ともよろしく願います。

UNSCEAR 2020/2021 Reportに 診療放射線技師の名前が掲載される!



UNSCEAR(原子放射線の影響に関する国連科学委員会)が作成する「UNSCEAR 2020/2021 Report Volume I」は、医療放射線に関するGlobal Surveyの報告書になっています。

診断系の「National experts」として、五十嵐隆元氏(国際医療福祉大学成田病院放射線技術部 副部長)、核医学では、渡邊浩氏(群馬パース大学教授)のお名前が掲載されており、今回の国連報告書にわが国の診療放射線技師2人の名前が載ったことになります(88ページ)。

英文誌 Journal of JART –English edition 2022– 配信のお知らせ

このたび、英文誌 Journal of JART –English edition 2022–を配信致しました。本誌の内容は、学術コンテンツとしまして、JART会誌へ掲載済みの論文・寄稿の中より優れたものを掲載しております。

※英文誌 Journal of JARTは、会員の皆さまに電子配信とさせていただきます。以下の本会Webサイトより、ご自身でダウンロードくださいますようお願い致します。

本会ホームページの「活動について About activity」の「定期刊行物」の「Journal of JART –English edition 2022–」からダウンロードできます。ダウンロードURLは、<http://www.jart.jp/activity/jjart.html> です。



「Journal of JART –English edition–」 J-STAGE掲載のお知らせ

「Journal of JART –English edition–」は、2021年10月1日より、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に掲載し、論文を会員内外に広く発信しています。J-STAGEは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。論文検索など有効にご活用ください。

INFORMATION

2021年度 放射線関連機器故障・事故調査のお願い

INFORMATION

日本診療放射線技師会では、2013年より各施設における放射線関連機器の故障・事故調査を行い、今年で10年目を迎えます。本年度も全ての施設の方にご回答いただくために、ホームページ (<http://www.jart.jp/>) からダウンロードしてご回答いただけるように致しました。

この調査は、データの蓄積ならびに分析が放射線診療の安全性向上と診療報酬改定に向けての貴重な資料となり、医療機器の安全管理のエビデンスとして極めて重要なものであります。多くの施設にご回答いただくことで信頼性も向上し、データとしての価値も高まりますので、ぜひ本調査に参加いただきますよう、お願い申し上げます。

このたび、より多くの方から回答を頂けるよう、締め切りを「**2022年7月31日(日)**」までにしました。

ぜひ、ご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては本会誌7月号お知らせをご覧ください。

2022年度 診療報酬改定の影響調査(アンケート)のお願い

INFORMATION

日本診療放射線技師会では、診療放射線技師の付加価値労働を可視化し、評価に結び付けるためにアンケート調査を行い、その結果を基に要望書を作成してまいりました。アンケートは、診療放射線技師の実態を映し出し、価値を可視化させる鏡であり、エビデンスとして評価されます。

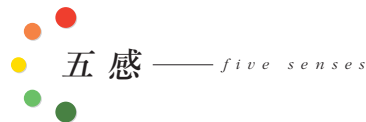
本アンケート調査は、2022年度診療報酬改定から2カ月が過ぎ、その影響などを検証し、2024年度の診療報酬改定に向けた準備の一環として実施するものです。

今回も多くの回答を集めるべく、各都道府県の技師会会長より各施設へアンケートのご協力をご依頼させていただきま。またその他の施設の方にも広くご回答いただけるように、本会ホームページ上でアンケートシートをダウンロードしていただき、ご回答いただけるような仕組みも設けております。

会員の皆さまにおかれましては、多くの施設にご回答いただくことで本調査の信頼性が向上し、データとしての価値も高まりますので、ぜひ、本調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、アンケートの回答方法などの詳細につきましてはホームページ (<http://www.jart.jp/>) をご覧ください。

星に願いを

シリーズ連載
series serialization

7月の風物詩の一つに七夕があります。皆さんご存じの通り全国各地で行われる伝統行事ですが、旧暦の7月7日に開催されていたことから、現在は8月7日に行われる地域もあります。願い事を書いた短冊や吹き流し・千羽鶴を笹竹に飾る現在のようなかたちで行われるようになったのは、さまざまな伝説と風習が結び付いたものといわれています。そのルーツとなった中国伝来の七夕伝説はあまりにも有名ですが、一般的な伝説のあらすじは次のようなものです。

～天の川の西岸に住む機織りの名手・織姫と、東岸に住む働き者の牛使い・彦星が、織姫の父親である天帝の勧めで結婚しました。しかし、二人は仲むつまじくするばかりで全く仕事をしなくなってしまいました。これに怒った天帝が、天の川を隔てて二人を離れ離れにしました。ところが、今度は悲しみに明け暮れるばかりで働かなくなってしまいました。そこで仕事に励むことを条件に七夕の夜に限って再会することが許され、七夕になると天帝の命を受けたカササギの翼に乗って天の川を渡り、年に1度、再会するようになりました。

ロマンチックな伝説ですが、ここで実際の天の川を見てみる

と、織姫が琴座のベガ、彦星が^{わし}鵲座のアルタイル、二人を取り持つカササギが白鳥座のデネブと「夏の大三角形」を形成しているのを見ることができます。空には全てが見えていますが、織姫と彦星の距離は、約15光年(150兆km)ととてつもなく離れています。何かと暗い話題の多い昨今、加えて新型コロナによる日常生活への制限など、下を向きがちな状況ではありますが、こんなときこそ上を向き、星空を眺める余裕が欲しいものです。下ばかり見ていると周りも見えず、どんどん孤立し悪い方向に進んでしまいます。われわれ診療放射線技師も新たな業務拡大への対応などで大変ですが、自分たちばかりではなく医療全体の中での役割を考えることが必要だと感じます。

七夕の日には皆さんも、壮大な宇宙や七夕伝説に思いをはせながら、少しゆっくりと空を見上げてみてはいかがでしょうか？

幼い頃は、七夕の日に天候が悪いと二人が会えなくてかわいそうだと思っていた私も、今では短冊に書く願いも煩惱まみれのため一つに絞るのは難しいですが、今年の七夕は、自分のことではなく「争いのない、みんなが平和に暮らせる世界」を強く願いながら、星空を眺めてみるつもりです。(文責：富田 伸生)

INFORMATION

第8回 第38回日本診療放射線技師学会に向けて

兵庫への道(神戸から全国へ)

～BE KOBE～

公益社団法人兵庫県放射線技師会
神戸東支部 甲南医療センター 長船 莉恵

見出し部分写真提供：一般財団法人神戸観光局

神戸東支部の魅力について

本大会の会場があります神戸東支部は、兵庫県神戸市の中央区・灘区・東灘区の地区で構成されており、多くの広報誌や情報誌などで紹介されている観光スポットの多い地区です。

神戸の市街地は、神戸港と六甲山地の間に広がる地形となっているため、建物から外に出て辺りを見回してみると、すぐに山を見つけることができます。そのため神戸に住んでいる人たちは、海＝南、山＝北と感覚的に方角をつかみ、道順を説明するときも「海側」と「山側」で方向を伝えます。有名な話ですが、元町にある百貨店「大丸神戸店」では、建物の中の方向表示も「山側」「海側」と書かれているほどです。

夜になると、市街地の背後の市草山ししょうざんや錨山いかりやま、堂徳山どうとくやまの山肌に電飾の明かりがとまり、目を楽しませてくれるとともに、山側の道しるべとなってくれています。

それでは、海側から私のお薦め観光スポットを紹介したいと思います。有名な所は皆さんご存じだと思うので、できるだけ新しいスポットやマイナーなスポットに焦点を当てたいと思います。

まずは皆さんが神戸の写真としてよく見る、モザイク、ハーバーランド、メリケンパークなどのウオーターフロントエリアです。神戸のシンボルタワーである神戸ポートタワーをはじめ、個性的なフォルムの建物や観覧車と海とのコントラストが美しく、昼夜問わず神戸港を楽しむことができますが、残念ながら神戸ポートタワーは改修工事中で休業しています。しかし、プロジェクションマッピングなど大規模アートイベントが予定されているようで、工事中も姿を変えて楽しむことができます。

また昨年には新施設、都市型水族館「átoa(アトア)」がオープンしました。アクアリウムを軸に舞台美術やデジタルアートを融合させ、生きものの造形美・神秘性を引き出しています。テーマごとに音・光・香りなど五感で感じる演出が幻想的で、独創的な世界への臨場感を高めています。各テーマで動植物や演出を楽しむことができ、特に、劇場型アクアリウムを堪能できる「MIYABI/和と灯の間」と「PLANETS/奇跡の惑星」がお薦めです。時間を忘れて音と光に包まれる非日常を体感してみてください。最上階には屋外展示のフロアとカフェが併設されています。カフェでは思わず写真を撮りたくなくなるような可愛らしいデザインのメニューが並び、展望デッキからウオーターフロントを一望しながら休憩することができます。

アトアがある建物の1階には「TOOTH MART」という神戸最大級のフードコートがあり、入場料なしで楽しめます。足を踏み入れると、広く開放感のあるインダストリアルなインテリアと軽快な音楽で迎われます。このおしゃれなフードコートの中心にはバーカウンターがあり、その上にはアトアの水槽が下から眺められるようになっています。バーカウンターが併設されていることからもお気付きだと思いますが、さまざまな料理に加えて、神戸のクラフトビール、後で紹介する灘の日本酒、ワインなど、おのおの好きなお酒も楽しむことができる魅力的なフードコートとなっております。

ウオーターフロントから山側に進むと旧居留地、元町中華街、北野異人館へと観光スポットがめじろ押しです。このエリアではジャズとコーヒーについて紹介したいと思います。

神戸にはジャズ喫茶やジャズバーが多く点在しています。プロのジャズバンドが神戸で結成され、ホテルで演奏したのが日本のジャズ発祥といわれており、神戸では多くのイベントやライブが開催されています。



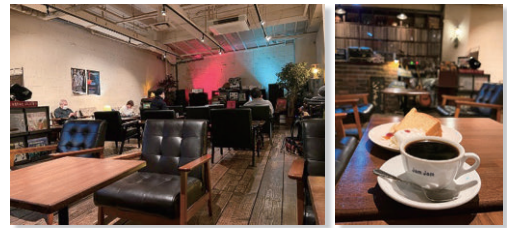
PLANETS/ 奇跡の惑星



TOOTH MART

átoa cafeの
カワウソ抱きかえポテト

ジャズを背景音楽に使用している飲食店はチェーン店を含めてたくさんありますが、写真にあるこのお店では、生のバンド演奏やマスターお気に入りの円盤を主役に、ひき立て入れ立てのコーヒーや食事を楽しむという「ジャズを体感すること」をメインとした空間が広がっています。お店は元町駅に近いビルの地下へ薄暗い階段を降り、ちょっと勇気を出して扉を開けると、圧倒される音を感じられるジャズ喫茶「jam jam」。薄暗くLP盤が壁に敷き詰められた店内には、大きなスピーカーから円盤を滑る針のノイズや音の広がり・深み、演奏者の息遣いまで感じることができ、非日常を体感できます。もちろん各店によって特色があるので、ぜひ、興味のある方は検索してみてください。



ジャズ喫茶「jam jam」

また喫茶店に欠かせないのがコーヒーです。実は、コーヒーも神戸から始まりました。昭和初期から平成の初めまでコーヒー輸入量全国一を誇った神戸港は、まさに日本の“コーヒー・ポート”と呼べる存在です。元町の老舗茶舗「**放香堂**」は、開店時から「焦製飲料コフィー」と銘打って売り出しました。これが“日本で初めてコーヒーを提供した店”の現存最古の記録であり、歴史の教科書でも紹介されています。今も当時を再現して、石臼でひいた豆をフレンチプレスで抽出する「**麟太郎**」という名のコーヒーを頂くことができます。



放香堂

石臼ひきのコーヒー豆

また本大会会場近くである**ポートアイランド**には、日本で唯一の**コーヒー専門博物館**があります。コーヒーの起源・栽培・鑑定・焙煎・抽出・文化など、コーヒーの世界を楽しむことができます。博物館の見学の後は、館内に併設されている喫茶室で至高の逸品を味わうこともできます。ここでコーヒーを入れてくれるのはコーヒー抽出のスペシャリストたちで、ペーパードリッパ・サイフォン・カフェプレスの3つの抽出方法から、どの入れ方がいいかこちらの好みによって選べます。博物館に入館しない人も利用でき、コーヒー好きにはお薦めの施設です。ちょっとした休憩時間に利用してみたいいかがでしょうか。

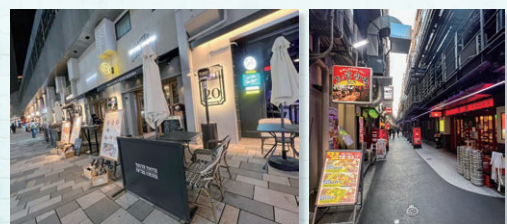
次に灘の酒蔵を紹介します。六甲山の麓、西宮市の**今津郷**・**西宮郷**から神戸市東灘区の**魚崎郷**・**御影郷**・**灘区西郷**へと続く、東西12kmにも及ぶ日本最大の清酒酒造地帯は「**灘五郷**」と呼ばれ、その酒は「**灘の生一本**」で知られます。現在、約25%のシェアで、わが国清酒の4本に1本が灘五郷の酒といわれています。酒蔵ごとに日本酒の文化や歴史を学べるとともに、芸術や教育、東京オリンピックへの貢献など、灘の酒造家たちが育んだ文化についても学ぶことができます。試飲コーナーでは限定の日本酒を飲み比べで頂くことができ、その他、さまざまな種類の日本酒がお土産として販売されています。日本酒好きの方はぜひお楽しみください。



酒蔵併設の資料館

試飲コーナー

学会終わりに楽しみなのがディナーではないでしょうか。神戸の街には中華に始まり多国籍なレストランがひしめき合っています。食べたいものが決められないときにお薦めしたいのが、リニューアルオープンした阪急神戸三宮駅周辺の「**EKIZO 神戸三宮**」です。高架沿いに多彩な飲食店が軒を連ねるグルメエリアで、海側と山側それぞれの店で店頭テラス席が設けられ、ウィズコロナの時代にマッチした開放感あふれるスタイルです。地元店舗、最新の話題店、老舗が同列に並び「ごちゃ混ぜ感」も魅力で、色とりどりのファザードが並ぶ通りは歩いているだけでワクワクします。また地下2階には「**阪急オアシス**」があり、地下1階では専門店こだわりの総菜・お酒などをその場で頂くことができる「**飲めるスーパー**」「**キッチン&マーケット**」が outlet しています。地元神戸っ子の毎日の買い物やちょい飲みにも重宝されていますが、帰路の新幹線や飛行機などで小腹を満たすための買い物にもお薦めです。



EKIZO 神戸三宮

他にも1千万ドルの夜景として知られる**掬星台の夜景**や、パンダとコアラがそろう唯一の動物園である**王子動物園**など、紹介したい観光スポットはまだありますが、この機会に少しでも神戸という街に興味を持って、当日も存分に楽しんでいただけたらと思います。

第38回

日本診療放射線技師学術大会

38th Japan Conference of Radiological Technologists

会期 2022年9月16日(金) — 18日(日)

会場 神戸コンベンションセンター [ハイブリッド開催]

会長 上田 克彦 公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

大会長 後藤 吉弘 公益社団法人 兵庫県放射線技師会会長

タスク・シフト/シェアに伴う
業務拡大を推進しよう

革新の挑戦



主催/公益社団法人日本診療放射線技師会 共催/公益社団法人兵庫県放射線技師会
後援(予定)/厚生労働省 日本放射線技術学会 兵庫県 神戸市 神戸新聞社

〈運営事務局〉
公益社団法人 兵庫県放射線技師会
神戸市中央区元町通5-2-3-1011 TEL.078-351-5172

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、各県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：

和歌山	7月 3日(日) 会場開催	長崎	7月 8日(金)～9日(土) Web併催(ハイブリッド開催)
長野	7月 9日(土) Web開催	熊本	7月 9日(土) 会場開催
奈良	7月 9日(土)～23日(土) オンデマンド開催	山口	7月10日(日) 会場開催
愛媛	7月10日(日) 会場開催	宮崎	7月30日(土) Web開催
福井	7月30日(土) 会場開催	富山	7月31日(日) 会場開催

7月・8月の講習会などスケジュールのご案内

■告示研修(基礎研修)： Web開催 2021年7月31日(土)午前0時から申し込み受け付け【e-ラーニング形式】
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。

■放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修：
Web開催 2022年6月13日(月)午前0時から12月20日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け【e-ラーニング形式】
※お申し込み成立の日から2023年1月28日(土)まで何度でも視聴いただけます。

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」「診療放射線技師基礎技術講習」「告示研修(実技研修)」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/2022_schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt00000081c3.html
- 「告示研修(実技研修)」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/kokuji_schedule_2022.html

本会会員賠償責任保険(全員加入)の傷害保険部分および付随するオプション保険の終了について

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦
財務 江端 清和

本会が契約している賠償責任保険(全員加入)には対人・対物損害保険部分と傷害保険部分がございますが、傷害保険部分については2021年度第1回理事会において取り扱いを終了することが決定し、2022年7月1日午後4時をもって傷害保険部分と傷害保険にセット加入のオプション部分の取り扱いおよび更新が終了となります。これまで傷害保険のオプションに加入されておられた会員各位宛てには取扱保険会社・代理店を通じて同等の内容・掛け金となる代替団体保険をご案内させていただきます。

なお、対人・対物補償に関する損害保険部分については、補償内容および補償金額は変わらず保険に付随する各種サービスもそのまま継続となります。

タスク・シフト/シェアに伴う新たな業務拡大による対人・対物補償につきましても保険料据え置きで従来通り保険の対象となりますが、その際は本会告示研修を修了されていることが条件となりますことを申し添えます。

会員の皆さまにおかれましては、ご理解のほどよろしくお願い致します。

* ご不明な点は、以下の宛先までお問い合わせください。

公益社団法人日本診療放射線技師会 事務局 総務課保険担当宛て E-mail : info@jart.or.jp

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。